



# 学校だより

令和元年 9月27日  
第16号  
四日市市立小山田小学校

## 「心を一つに、最後まで！」みんなが輝いた運動会 <団体・応援>

台風の影響で天候が心配された21日(土)、朝まで降っていた小雨も競技が始まるころには上がり、無事に運動会を開催しました。「積み重ねてきた練習の成果を今こそ発揮し、心を一つに最後までがんばりましょう。」児童代表で6年生の赤組・白組の応援団長2名の力強い言葉で始まった今年の運動会。ご参観いただいた多くの方々の前で、子どもたちは素晴らしい姿を見せてくれました。競技の進行が早まったり、運動場がところどころぬかるんでいたり、コンディションのよくない中、どの種目・演技も最後まで精一杯の力を出し切った子どもたちの姿は、一人ひとりが輝いていて、見る者みんなに感動を与えてくれました。赤白それぞれ自分たちのテントで応援する姿やてきぱきと動く高学年の各係の活動も素晴らしかったです。

子どもたちも「みんなで目標に向かって力を合わせることは素晴らしい」とことと「最後までがんばる姿はカッコいい」ということを実感したと思います。一人ひとりこの運動会で得た自信や達成感を、これからの学習や生活に活かして欲しいと思います。



【徒競走】着順に関係なく、1～6年生全員がゴールまで力の限り走りぬきました！



1・2年生【いっしょに玉入れ】  
おじいさん・おばあさんと一緒に！

3・4年生【小山田っ子タイフーン】  
最後まで一進一退の接戦でした！

5・6年生【ひっぱれノーサイドゲーム】  
白熱した接戦を白組が制しました！



【応援合戦】赤組・白組それぞれ気合の入った応援や空に響き渡る歌声に感動しました！

# 全国学力・学習状況調査の結果から ①

6年生が4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果が届きました。調査から測定できるのは、子どもの学力の一部であり、学校の教育活動の一側面ではありますが、結果をもとに学校と家庭が協力して、教育活動や児童の学習状況の改善につなぐことが大切であると考えます。そこで、今回の結果から見えてきた本校児童の各教科の「強み・弱み」についてまとめました。お子様にわかる範囲でお伝えいただけたらと思います。

※ 今年からA(基本)問題、B(応用)問題を別々に問う形式ではなく、B問題を中心とした問題の中に基本的な問題が含まれるようになり、いわゆる「難問」は姿を消しました。しかしその分、単なる暗記だけの知識ではなく、「どうしてその考え方になるのか」という「思考の道すじ」が重視され、「比べて読み取る」「例を活用して実際に考え方の説明を書く」ことを重視した問題が多く出題されました。

## ① 国語……本校の平均正答率は、全国を上回りました。

〈強み〉…無回答率が全国・県より低く、最後まで粘り強く解答していました。領域別に見ると、どの領域についても全国を上回りましたが、「話すこと・聞くこと」の領域が特に高かったです。「学年別漢字配当表」に示されている漢字を文の中で正しく使う」という「基礎基本となる漢字の読み書き」については、3問中2問が全国を大きく上回っており、日々の地道な積み重ねの成果が現れました。問題形式別に見ると、記述式についても全国を上回り、「書くこと」に気を付けて指導してきた成果が出てきています。

〈弱みと対策〉…「ことわざ」の意味の理解は、やや弱かったです。昨年の「敬語」、一昨年の「ことわざ」「手紙文」、それ以前の「ローマ字」等、「生活に結びついた言語事項」については新学習指導要領でも重要視されており、しっかり練習しておきたいものです。送りがなのある訓読みの「限らず」は、正答率が低かったです。また読解については、せっかく内容を読み取っていても、主語と述語がねじれていたり、条件をみだしていなかったりして正答とならない場合が数年来見受けられたので指導してきましたが、今年も惜しくも正答とならない解答が見受けられました。引き続き記述の仕方について指導していきます。

## ② 算数……本校の平均正答率は、全国とほぼ同等でした。

〈強み〉…無回答率が1問(除法の性質の記述)以外0であり、最後まで粘り強く解答していました。領域別に見ると、4領域の中で「数と計算」「量と測定」「数量関係」の3領域が全国をやや上回っており、記述式問題も全国を上回っていました。特に「例に従って説明すること」に気を付けて指導してきた成果が出ていました。14問中2問は全員パーフェクトで、基礎的な理解を地道に積み上げてきた成果が出ていました。

〈弱みと傾向〉…4領域の中で「図形領域」が弱く、「2つの合同な図形をあわせてできる形を選ぶ」が特に課題でした。図形の性質を理解するためにも「作図活動」を大切に、それぞれの図形の特徴を理解する必要があります。また、2本数直線図等の図を描いて考える活動を重視してきたので、「数量関係」は全国をやや上回っていましたが、「示された除法の式の意味」の理解は低かったため、「文章題を解くとき、方法を覚えるだけでなく、図の意味を理解して描く」ことが大切です。

**これからの学習では、こうしていこう！～学年に応じて、できる取組を積み上げていきましょう～**

### ① 読む…多くの文章や図表(教科書の文、図書の本、新聞、ドリルの熟語、データや図など)を読みましよう！

まずはすらすら読める力！が大切です。低学年から音読を大切に、漢字やローマ字、ことわざや熟語等の読み書きを積み重ねて語彙を増やしましょう。読んで分からないときにすぐ調べる習慣も大切です。「一読で理解する6年生」を目指し、「今書いてある文に何が書いてあるか」を考えながら読みましよう。

### ② 書く…学んだ言葉を使って、テーマや条件に合わせて文章を書く習慣をつけましよう！

問題の条件に合わせて自分の考えを書くには、積み重ねが大切です。授業の後「今日学んだことを重要用語を使って書く」、単元の終わりに「自学ノートに大切なことをまとめる」「いくつかの資料を見て調べたことを書く」等の習慣をつけましよう。主語を省略せず、伝える気持ちで書くことが大切です。

### ③ 解く…基礎的な加減乗除(+-×÷)や図形をばっちり！ 手ごたえのある文章問題にも挑戦しよう！

ときどきしか出てこない「図形」に苦手意識がある子は少なくありません。まずは三角定規やコンパスを正しく使って作図できることを目指ましよう。学年末に教科書を処分する人がいますが、作図方法を細かく描いてあるのは教科書だけです。忘れかけたら調べられるようにしておいてその都度調べましよう。計算では「くり下がりのあるひき算」「小数の筆算」「わり算」でつまずきやすいので、練習で自信をつけましよう。文章題は、ポイント(要点)書き・図・式・筆算・答えの5点セットを使い、説明できるようにしましよう。

### ④ 生活…早寝・早起き・朝ご飯・家庭学習(自分のためのプラスワン)の習慣！

しっかり食べ、しっかり眠り、自分の力が発揮できるようにしましよう。宿題の答え合わせでまちがえたとき、答えを写して終わっていませんか？ 分からないことは聞いたり調べたりして納得がいくまで取り組みましよう。毎日の宿題プラスワン「自主学習」(自分は今何を学習するとよいか考えて自分から学習する)の態度を身につけていきましょう。友だちの一工夫からも学びましよう。毎日の積み上げは大きい。必ず伸びます。